

# 令和7年度 ふくしま情報モラル診断 の実施結果について

**福島県 / 福島県教育委員会 / 福島県警察**

この事業は、国内外からお寄せいただいた寄附金をもとに造成された「福島県東日本大震災子ども支援基金」により実施しています。

### ～ ふくしま情報モラル診断について ～

ふくしま情報モラル診断は、こどものインターネットの利用に関する基礎知識の習得度合いや利用状況を把握し、その向上と改善を目的に実施したものです。インターネットの利用状況を調査する『アンケート』とインターネットを活用するための理解度を確認する『診断問題』で構成されています。

#### 【アンケート】

小学生1、2年	6問	小学生3年～高校生	7問
保護者（小学生1、2年）	4問	保護者（小学生3年～高校生）	3問

※ スマートフォンの所持率やインターネットの利用状況、フィルタリング率などを調査します。

#### 【診断問題】

小学生1、2年	6問	小学生3、4年	10問	小学生5、6年	10問
中学生	15問	高校生	15問	保護者	10問

- ・ 小学生・中学生（保護者も含む）用の問題は、学期毎に内容を入れ替えて出題（1学期は基礎的な問題）
- ・ 高校生（保護者も含む）用の問題は、通年で同じ内容を出題
- ・ 診断問題は、福島県HPで公開しています。

※文部科学省の「情報モラル指導モデルカリキュラム表」が示す指導内容の5分類（情報社会の倫理、法の理解と遵守、安全への知恵、情報セキュリティ、公共的なネットワーク社会の構築）により診断問題を作成しており、児童生徒が各段階で身につけておくことが望ましいとされる内容となっています。

福島県では、福島未来を担うこども達が、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度を身に付け、ICTを活用して問題解決できる能力を伸ばし、夢や希望をもって活躍できることを応援しています。

### ～ふくしま情報モラル診断の合言葉は、「みんなで！」～

- 教員も、児童生徒も、保護者も、県民も、ふくしまみんなが参加できるシステムです。
- イラストとタップ操作の楽しさで、こどもから大人まで、繰り返しチャレンジしたくなるシステムです。

#### 【令和7年度調査状況】

- ・ 県内小中学校、高校、特別支援学校 485校が調査に参加

内訳	小学校	284校	
	中学校	148校	
	義務教育学校	6校	
	高等学校	33校	
	特別支援学校	14校	計485校

- ・ 参加児童生徒数など

内訳	小学生	43,947人	
	中学生	23,515人	
	高校生	7,329人	児童生徒計74,791人
	保護者	36,164人	



#### 留意点

- 本調査は福島県内の小中学生、高校生を対象として実施した「ふくしま情報モラル診断」の実施結果である。
- 小学校1年生から高校3年生までを児童生徒と表記する。
- nは質問に対する回答数で、100%が何人の回答に相当するかを示す基数である。
- 結果数値(%)は1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがある。

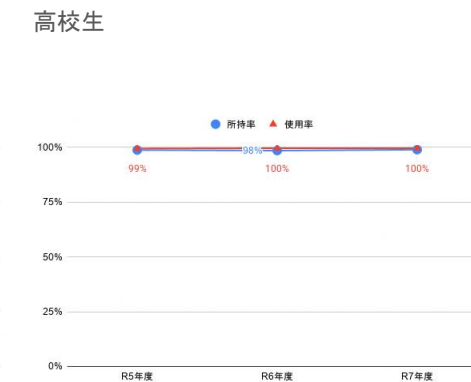
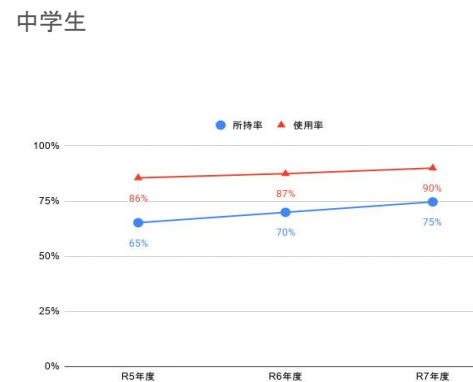
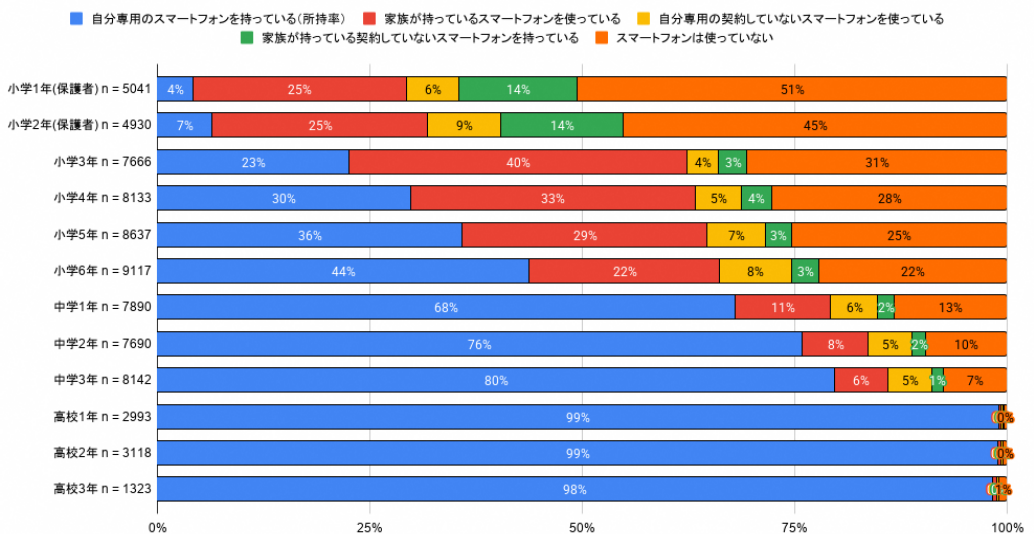
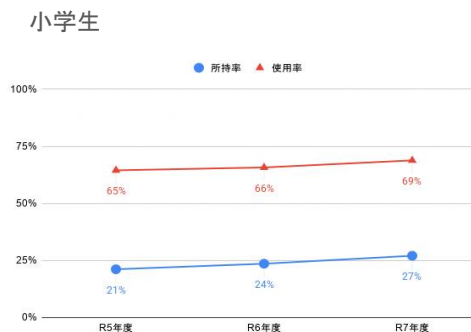
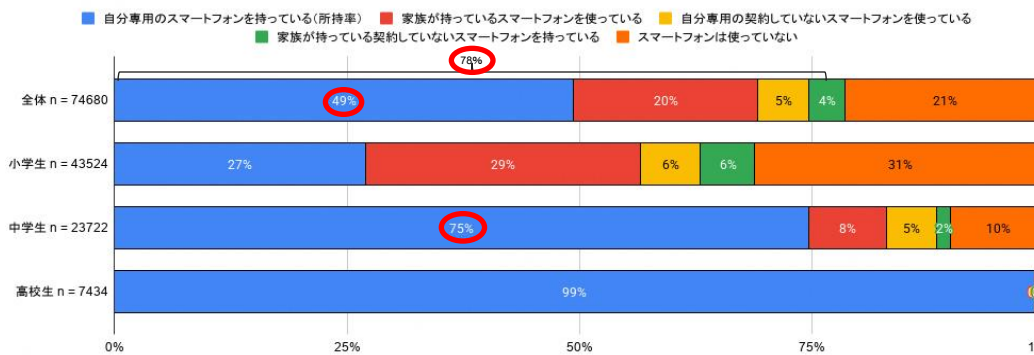
## 目次

1. スマートフォンの使用状況（所持率）
2. インターネットの利用状況（利用内容）
3. インターネットの利用状況（勉強以外での利用時間）
4. インターネットの利用状況（勉強での利用時間）
5. フィルタリングの利用状況（保護者回答）
6. インターネットの利用に関する家庭のルールの有無
7. インターネットによるトラブルの有無
8. 診断問題平均正答率
9. 【参考資料】診断問題で正答率が1番悪かった問題

# 1. スマートフォンの使用状況（所持率）

- こどもの**78%**が、スマートフォンを使っている。←「スマートフォンを使っていない」以外。
- こどもの**49%**が、自分専用のスマートフォンを所持している。
- 中学生の自分専用のスマートフォン所持率が過去3年間で急増（令和5年**65%**→令和6年**70%**→令和7年**75%**）。

## 問1 あなたはスマートフォン（携帯電話を含まない）を使っていますか？



※小学1年生、小学2年生は保護者が回答  
小学3年生から高校3年生までは児童生徒が回答

※「使用率」は「スマートフォンを所持または利用している人（＝『スマートフォンは使っていない』と回答しなかった人）」の割合

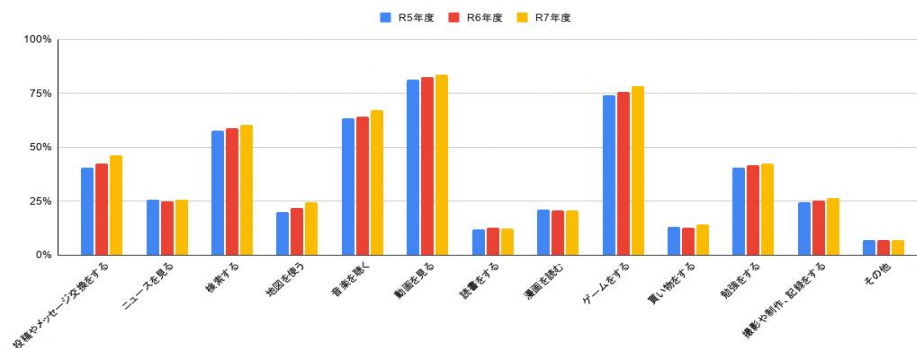
## 2. インターネットの利用状況（利用内容）

- こどものインターネット利用内容の内訳は、  
 小学生では、動画を見る（76%）、ゲームをする（76%）が上位。勉強をするは36%。  
 中学生では、動画を見る（94%）、音楽を聴く（87%）が上位。勉強をするは50%。  
 高校生では、動画を見る（97%）、音楽を聴く（95%）が上位。勉強をするは55%。

### 問2 あなたはインターネットを使って何をしていますか？（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）

	投稿やメッセージ交換をする	ニュースを見る	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	漫画を読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
小学生 n=44443	24%	18%	44%	12%	52%	76%	12%	11%	76%	6%	36%	21%	7%
中学生 n=23722	75%	35%	83%	37%	87%	94%	12%	31%	80%	17%	50%	32%	6%
高校生 n=7434	89%	45%	87%	58%	95%	97%	17%	49%	83%	54%	55%	41%	6%
	投稿やメッセージ交換をする	ニュースを見る	検索する	地図を使う	音楽を聴く	動画を見る	読書をする	漫画を読む	ゲームをする	買い物をする	勉強をする	撮影や制作、記録をする	その他
小学1年生 n=4943	7%	21%	22%	9%	41%	68%	20%	12%	65%	12%	54%	35%	6%
小学2年生 n=5947	7%	24%	27%	9%	44%	70%	23%	12%	73%	12%	52%	30%	7%
小学3年生 n=7666	11%	15%	28%	9%	40%	69%	10%	7%	73%	6%	32%	11%	9%
小学4年生 n=8133	21%	12%	43%	10%	47%	75%	7%	6%	77%	3%	27%	15%	8%
小学5年生 n=8637	34%	16%	55%	13%	59%	81%	8%	10%	81%	4%	29%	18%	7%
小学6年生 n=9117	47%	22%	69%	19%	70%	87%	10%	16%	83%	6%	36%	24%	7%
中学1年生 n=7890	75%	33%	82%	37%	86%	91%	11%	29%	78%	15%	48%	31%	6%
中学2年生 n=7690	77%	34%	84%	37%	88%	94%	12%	30%	80%	16%	49%	31%	6%
中学3年生 n=8142	82%	43%	89%	47%	92%	95%	14%	39%	79%	25%	57%	34%	6%
高校1年生 n=2993	90%	44%	89%	57%	96%	97%	16%	49%	85%	46%	59%	41%	6%
高校2年生 n=3118	90%	46%	87%	61%	95%	97%	17%	50%	83%	59%	56%	41%	6%
高校3年生 n=1323	85%	44%	81%	55%	93%	95%	16%	47%	81%	61%	46%	39%	7%

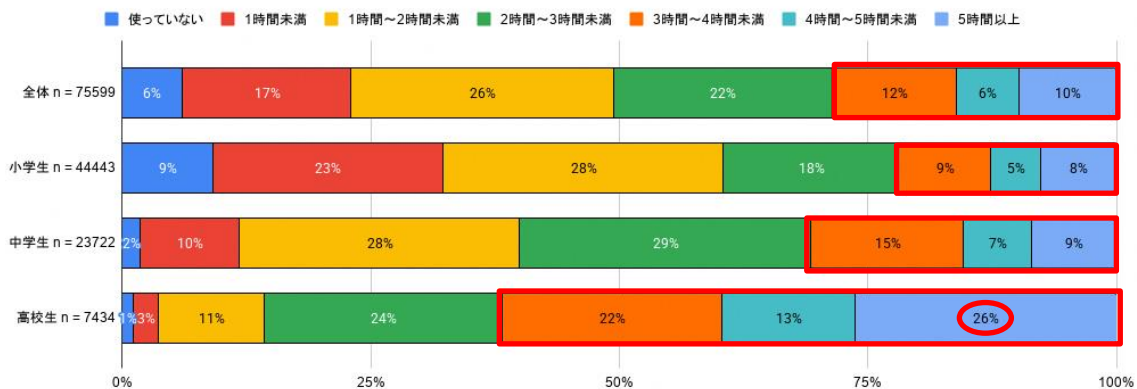
過去年度からの推移（全学年）



### 3. インターネットの利用状況（勉強以外での利用時間）

- 平日1日当たり、勉強以外で3時間以上利用しているこどもの割合は**28%**。
- 学校種別でみると、小学生の**22%**、中学生の**31%**、高校生の**61%**が3時間以上利用していると回答。
- 勉強以外での利用時間は、前年から増加しており、高校生の**26%**が5時間以上利用していると回答。
- 勉強以外でのインターネット利用時間は、過去3年間で増加傾向。

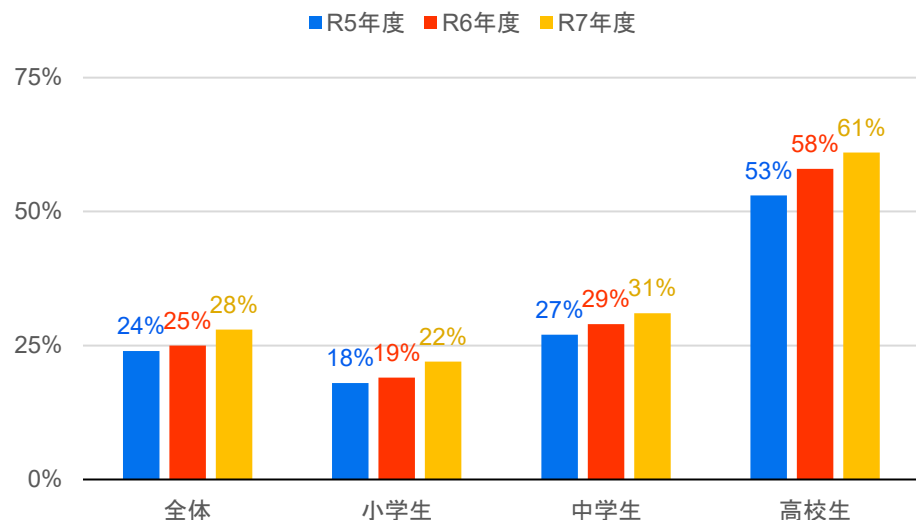
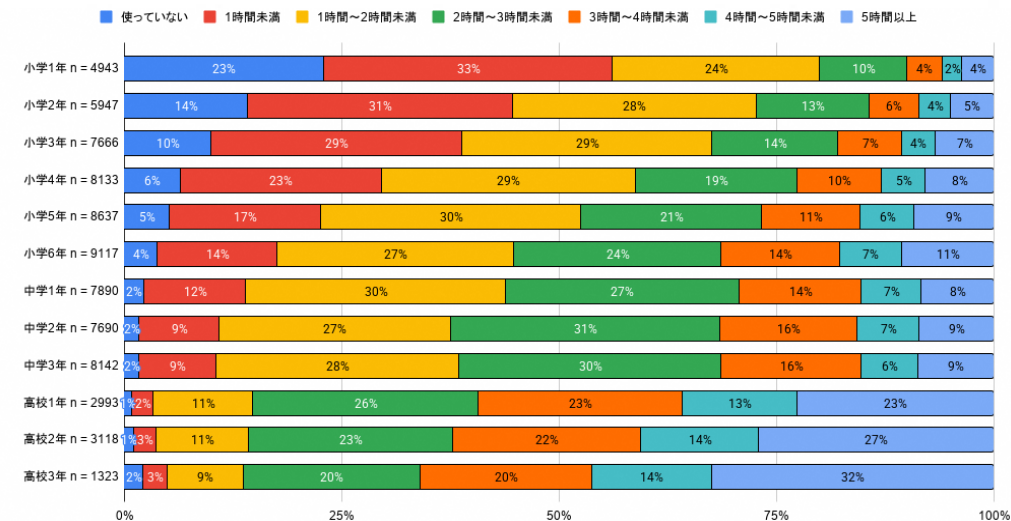
問3 あなたは、平日（土日祝を除いて）1日に平均して、勉強以外で、だいたいどのくらいの時間、インターネットを使いますか？（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）



令和7年度

	3時間以上の割合	5時間以上の割合
全体 n = 75599	28%	10%
小学生 n = 44443	22%	8%
中学生 n = 23722	31%	9%
高校生 n = 7434	61%	26%

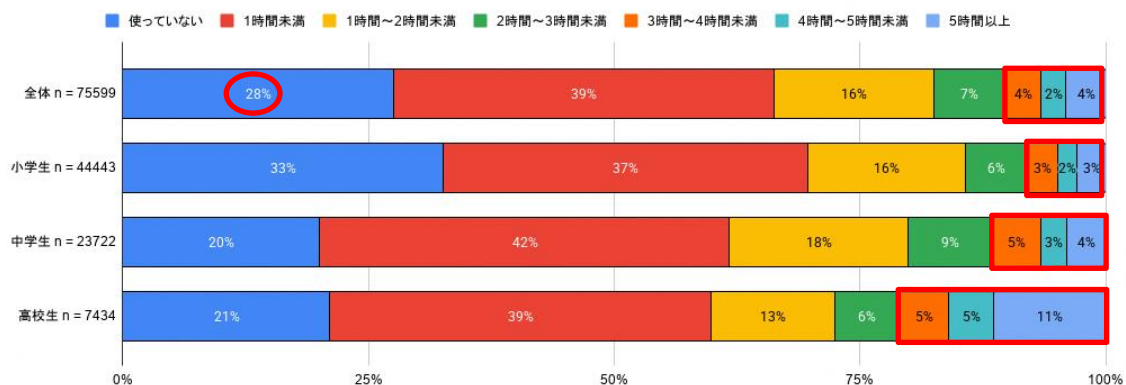
勉強以外3時間以上利用（過去年度からの推移）



## 4. インターネットの利用状況（勉強での利用時間）

- 平日1日当たり、勉強で3時間以上利用しているこどもの割合は**10%**。
- 学校種別でみると、小学生の**8%**、中学生の**12%**、高校生の**21%**が3時間以上利用していると回答。
- 全体の**28%**は、平日勉強でインターネットを利用していない。
- インターネットを活用した勉強は、過去3年間で見てもおおむね横ばいで推移。

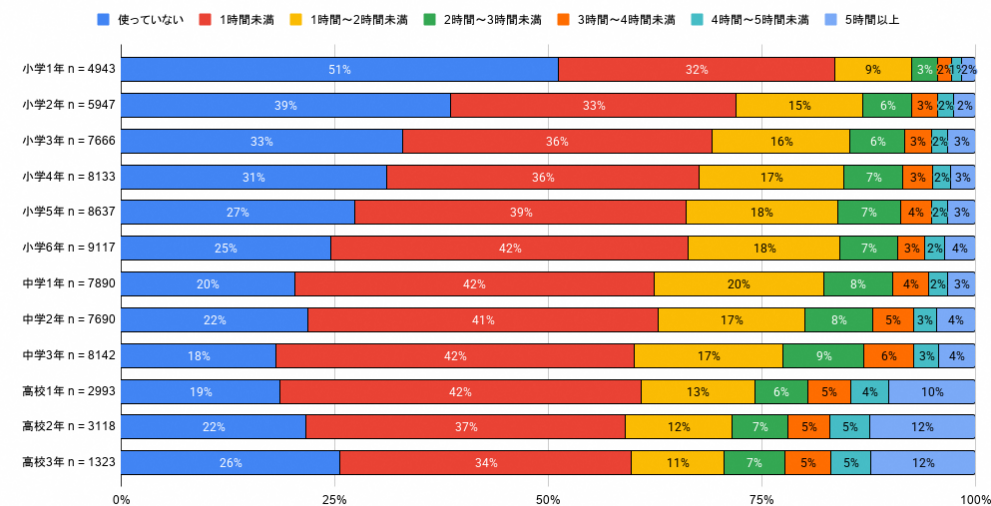
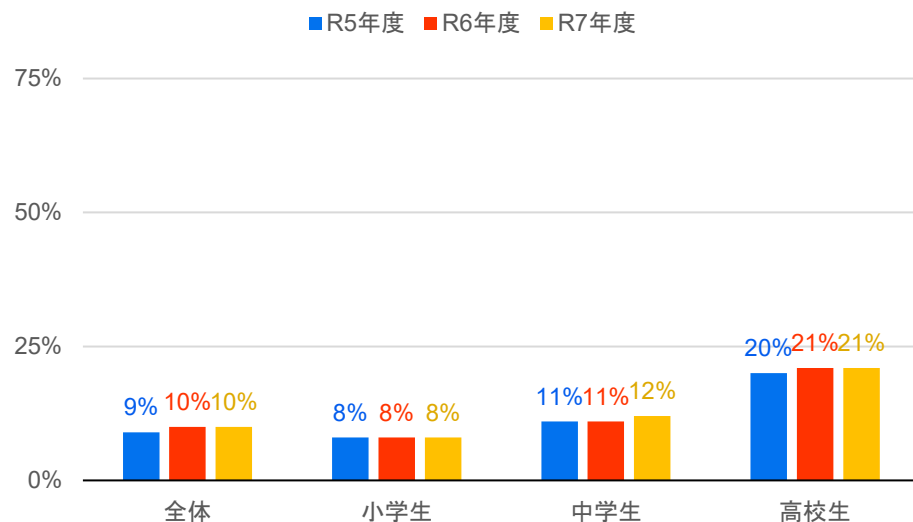
問4 あなたは、平日（土日祝を除いて）1日に平均して、勉強で、だいたいどのくらいの時間、インターネットを使いますか？  
（スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム機等を含む）



令和7年度

	3時間以上の割合	5時間以上の割合
全体 n = 75599	10%	4%
小学生 n = 44443	8%	3%
中学生 n = 23722	12%	4%
高校生 n = 7434	21%	11%

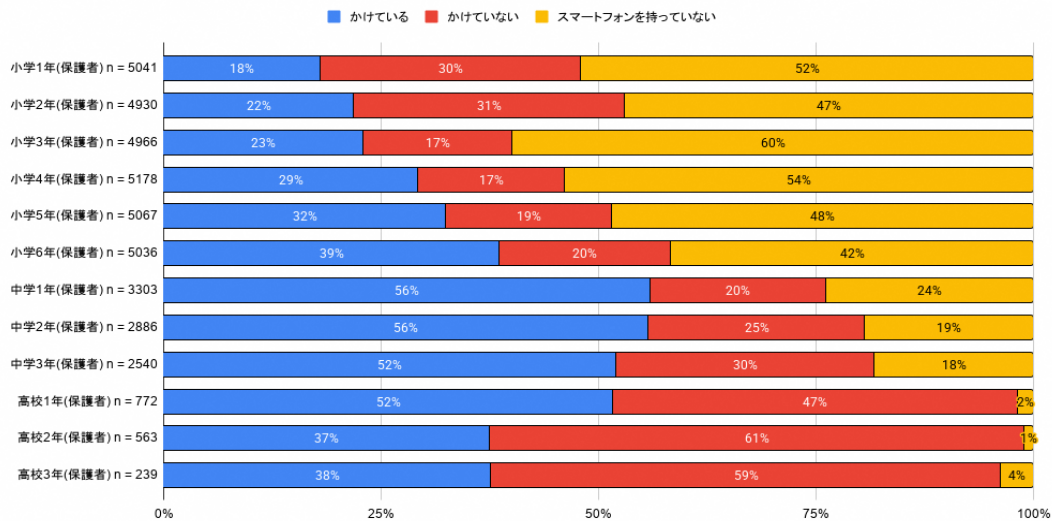
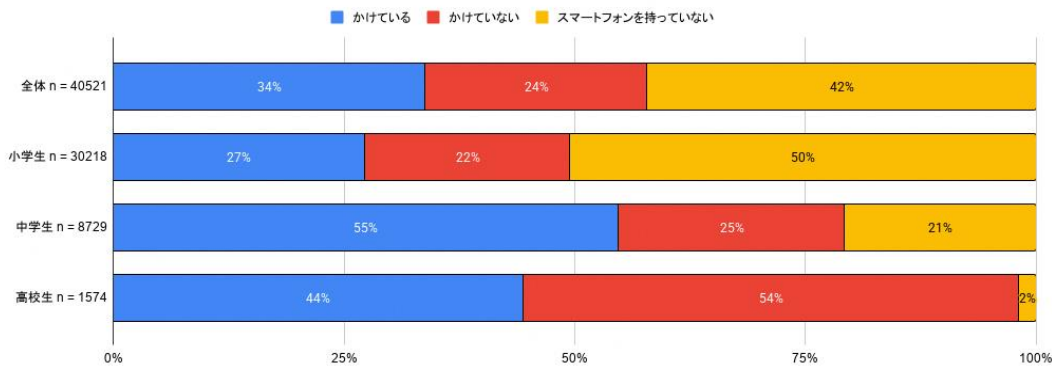
勉強3時間以上の利用者（過去年度からの推移）



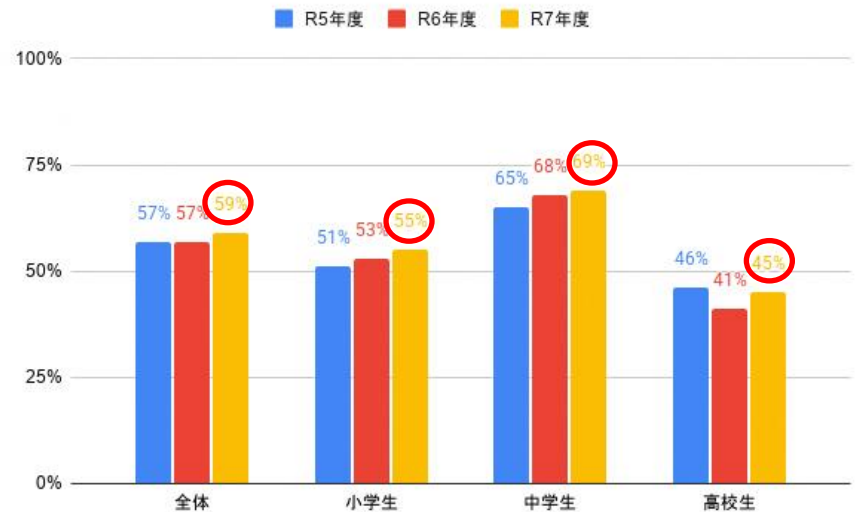
## 5. フィルタリングの利用状況（保護者回答）

- こどもが使うスマートフォンのフィルタリング利用率は**59%**で前年から増加。
- 学校種別でみると、小学生は**55%**、中学生は**69%**、高校生は**45%**でいずれも前年から増加。
- フィルタリングの利用率は全体で増加に転じた。

### 問5 あなたのお子様が使っているスマートフォンにフィルタリングはかけていますか？



### フィルタリング利用率（過去年度からの推移）

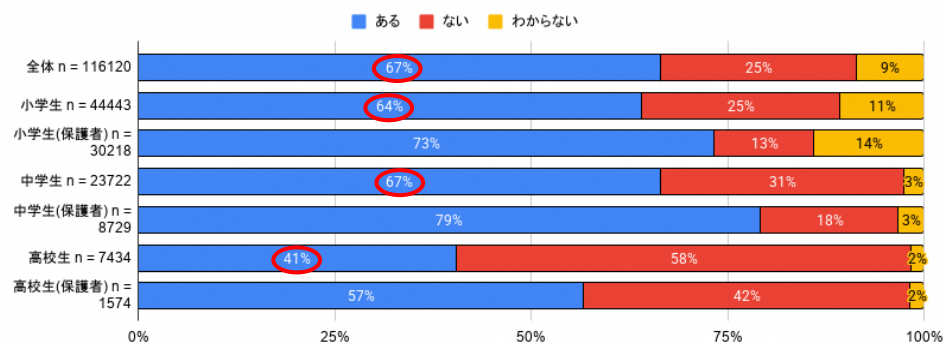


※「フィルタリング利用率」は、「スマートフォンをもっていない」との回答を除外して算出

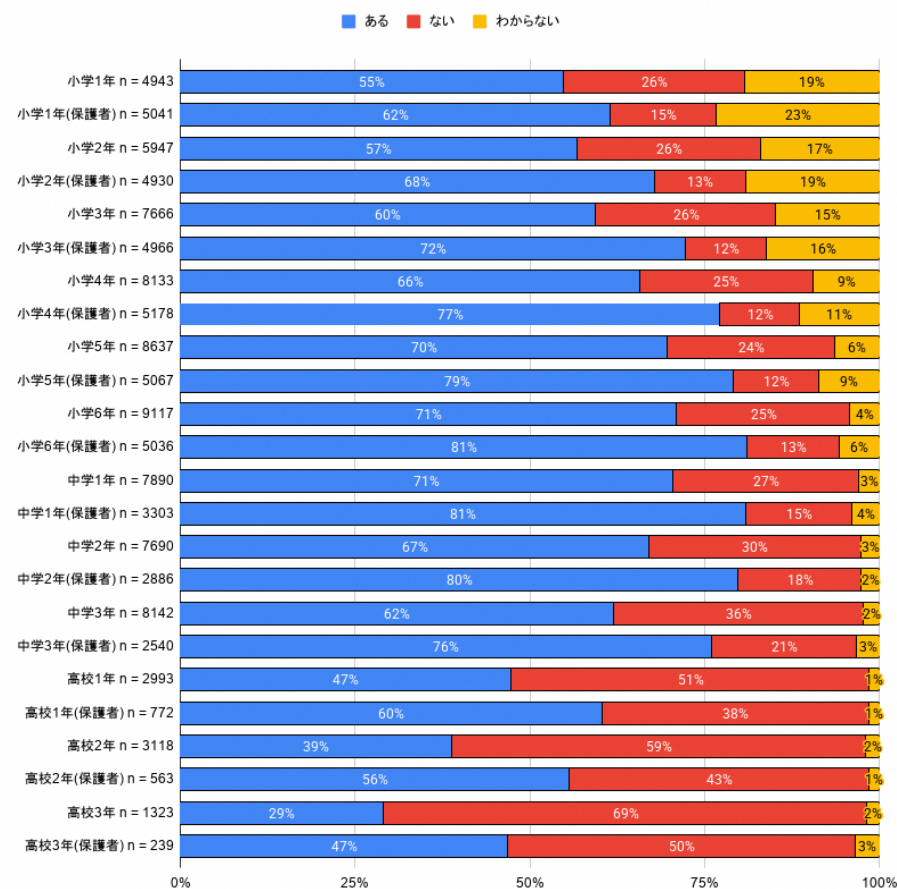
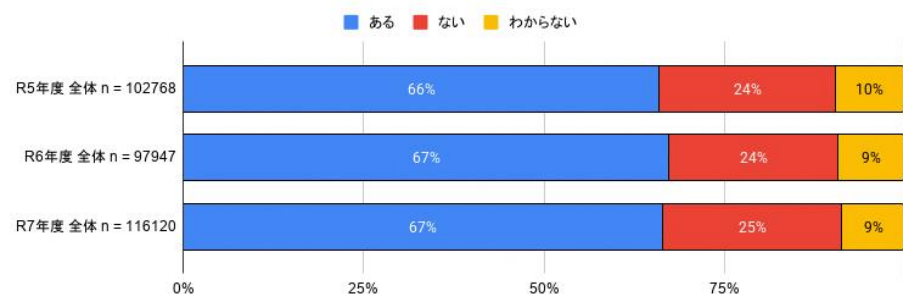
## 6. インターネットの利用に関する家庭のルールの有無

- 家庭内でインターネットの使い方についてルールを決めていると回答した割合は**67%**。
- 学校種別でみると、小学生の**64%**、中学生の**67%**、高校生の**41%**が「ルールがある」と回答。
- 学校種が上がるにつれて「ルールを決めていない」との回答が増え、子どもと保護者の「ルールの有無に関する認識のギャップ」も拡大傾向。
- 家庭でのルールの有無の割合は過去3年間で見てもおおむね横ばいで推移。

### 問6 あなたの家では、インターネットの使い方について、何か家庭でルールを決めていますか？



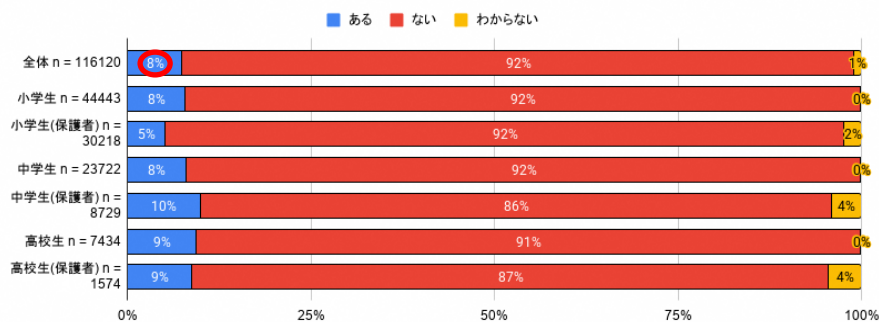
#### 過去年度からの推移 (全学年)



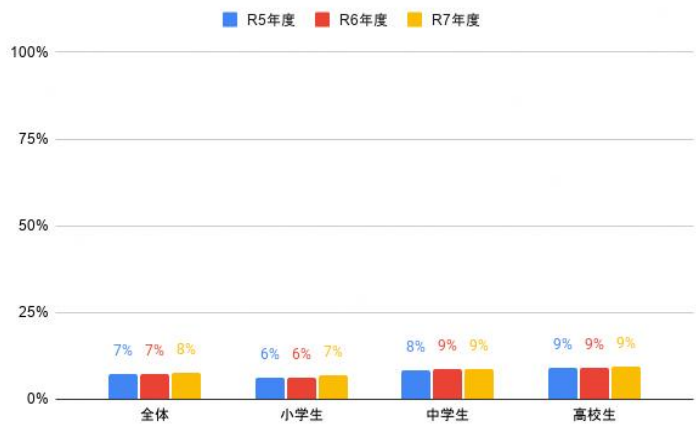
## 7. インターネットによるトラブルの有無

- インターネットによるトラブル（例：言葉などによるトラブル、インターネットで知り合った人とのトラブル、使いすぎによる健康への影響、ゲームへの課金などのトラブル）を経験したと回答した児童生徒は**8%**。（正確には7.52%）
- 前年は**7%**（正確には7.18%）であり、過去3年間で見てもトラブル経験者の割合はおおむね横ばいで推移。

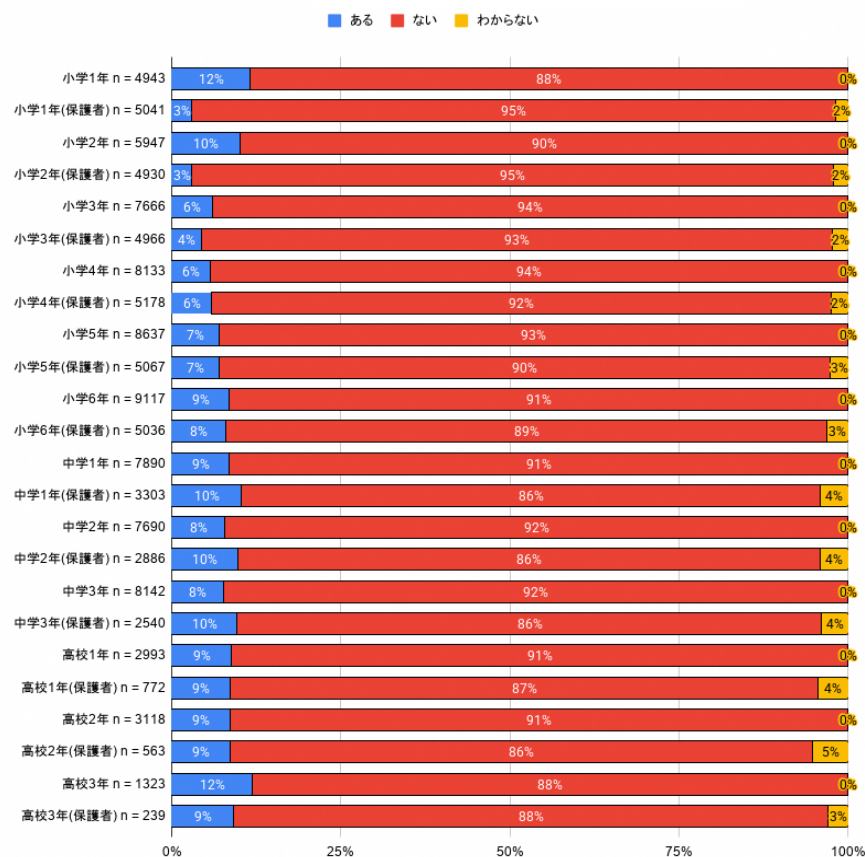
### 問7 あなたは（あなたのお子様は）インターネットでトラブルになったことがありますか？



### トラブルがあると回答した人の割合（過去年度からの推移）



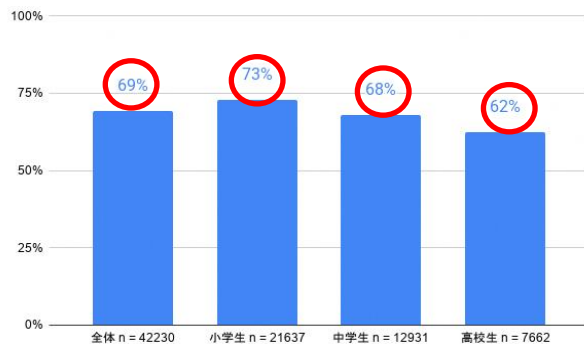
（割合は児童生徒・保護者の合算）



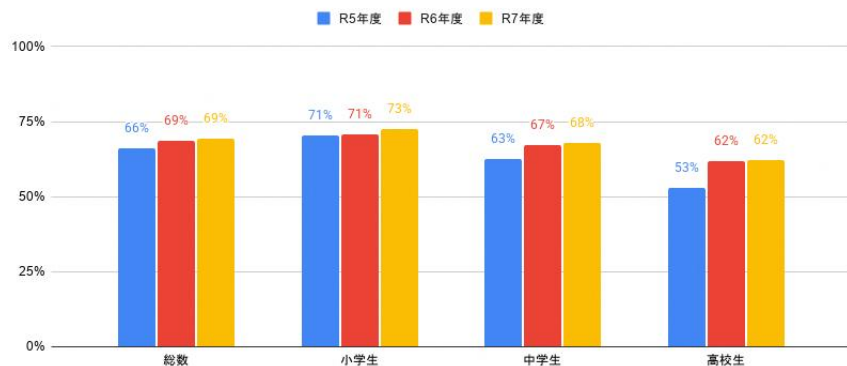
## 8. 診断問題平均正答率

- こどもの正答率は**69%**(正確には69.47%)。前年の**69%**(正確には68.7%)と比較して0.8%上昇し、情報モラルの向上が認められる。
- 学校種別でみると、小学生が**73%**、中学生が**68%**、高校生が**62%**の正答率で特に小学生の正答率が向上した。

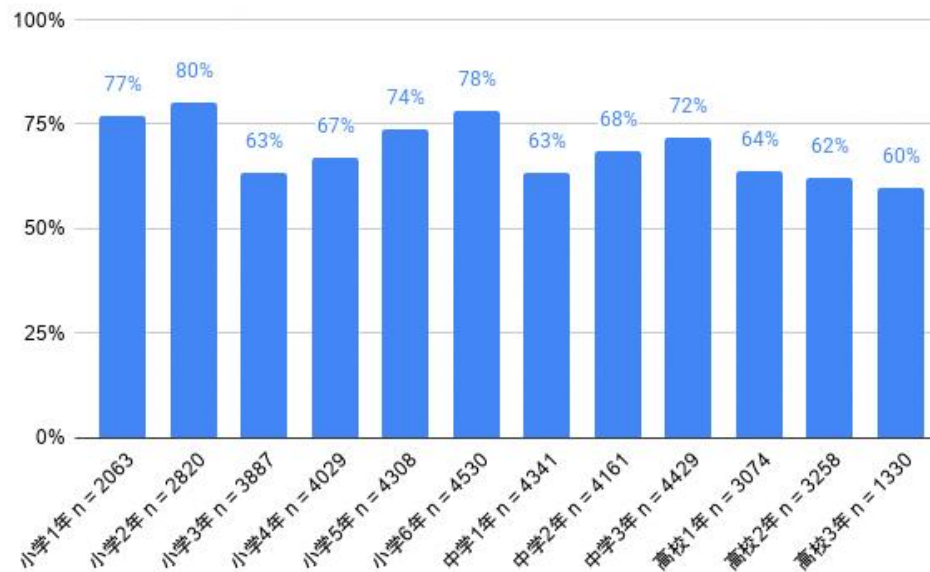
平均正答率（学校種別）



平均正答率（過去年度からの推移）



平均正答率（学年別）



## 9. 【参考資料】診断問題で正答率が低かった問題

小学1・2年 正答率：60%

【問題文】

ゲームのたいせんあいてから「こんにちは、わたしは小3の女子です。あなたも小学生ですか？」とメッセージがきました。どうするのがよいでしょうか？

【選択肢】

- ① 「わたしは小1（小2）です」ときかれたことにこたえる  
② なにもこたえない  
③ 「メッセージはおくらないでください」とこたえる

【答え】

②

知らない人からのメッセージには、こたえないようにしましょう。小3の女子とかかかれていても、それはうそで、わるい大人かもしれません。ぜったいにじぶんの名まえやじゅうしょ、学校名、学年、クラスなどをおしえてはいけません。へんだな？とおもったらすぐに大人にそうだししましょう。

小学3・4年 正答率：32%

【問題文】

インターネットで調べものをしているとよく出てくる、ウィキペディア（Wikipedia）についての説明で、まちがっているものを選びましょう。

【選択肢】

- ① だれでも無料で読めるインターネット百科事典  
② 読者はだれでも記事をへん集できる  
③ 日本語、英語、フランス語、中国語のみで作られている

【答え】

③

2021年までに、300以上の言語で作成されています。  
ウィキペディアは、インターネットを使った共同作業で、信らいできる百科事典を作るとを目的にしています。  
参加者はほとんどがボランティアで、きふで運えいされています。  
自分のとく意なところをいかしてさまざまな人が書きこみをしていますが、記事のへん集はだれでもできるため情報は常に正しいとは限りません。

## 9. 【参考資料】診断問題で正答率が低かった問題

小学5・6年 正答率：45%

【問題文】

じょう談でお店の口コミに「くさった商品ばかり売っている」と、ウソを書き込みました。このことについて、適切な考え方は次のうちどれでしょうか？すべて選びましょう。

【選択肢】

- ① 口コミは誰が書き込んだかわからないものである
- ② 事実かどうかは読む人が考えるべきである
- ③ 法律に違反することである
- ④ そもそも、ウソをつくのはよくないことである

【答え】

- ③④

口コミやSNSでお店の信用を落とすと、「信用毀損（きそん）罪」「業務妨害（ぼうがい）罪」という罪になります。絶対にやめましょう。また、あなたの本名を出してなくても、調べればあなたを書いたことはわかってしまいます。

中学生 正答率：39%

【問題文】

夏休みの宿題として、「福島県の魅力を広めよう」という課題が出されました。資料の作成にあたり、写真が必要だったので、あるホームページからダウンロードしました。この写真の扱い方として適切ではないものをすべて選びましょう。

【選択肢】

- ① この写真は自分が撮影したことにした
- ② 気に入った写真を自分の部屋に飾った
- ③ 資料に引用元を明記した
- ④ 写真を切り抜いたり色を変えたりした

【答え】

- ①④

文章や絵画、プログラム等を含むすべての知的創造物を保護するための権利として、知的財産権というものが存在し、その一種に著作権があります。著作権の対象には写真も入り、ネット上にある画像や文章等は、著作権者に断りなく使ってはいけません。使う場合は、引用部分をそのまま記載（きさい）すると同時に、引用元であるウェブページや書物等の出典を一緒に明示しましょう。また、切り抜いたり色を変えたりする加工が禁じられていることも多いので、よく確認しましょう。

## 9. 【参考資料】診断問題で正答率が低かった問題

高校生 正答率：21%

【問題文】

インターネットについての説明として適切なものをすべて選びましょう。

【選択肢】

- ① 口コミやレビューには、間違いや嘘も交じっている      ② インターネットで夢や計画を発信して、募金や寄付を集めることができる  
③ アーティストや作品にお金やギフトをインターネットで送って応援するしぐみを「クラウドファンディング」という  
④ SNSで趣味や嗜好が同じ人を見つけやすい

【答え】

- ①②④

③は「クラウドファンディング」ではなく「投げ銭」です。「クラウドファンディング」の説明は②となります。誰でも簡単に情報を発信・受信できて、世界中の人とつながることができるのがインターネットの特徴です。簡単に情報を発信できることから間違いや嘘も交じることに注意してください。また、投げ銭やクラウドファンディングなどお金を使う時は保護者と相談し、よく考えてからにしましょう。

保護者 正答率：19%

【問題文】

自分の子どもが友達と一緒に写っている運動会の写真をSNSにアップする場合で、適切なものをすべて選びましょう。

【選択肢】

- ① 写っている人全員の了承（未成年の場合は保護者の了承）が得られればしてもよい  
② 子どもの写真はSNSに公開してはいけない  
③ 個人が特定されなければアップしてもよい

【答え】

- ①③

SNSに人物の写真を公開する場合は、写っている人に、公開しても良いか了承を得ましょう。SNSにいったん公開してしまうと完全に消すことはできません（デジタルタトゥー）。自分の子どもであっても、内心では「他の人に見られたくない」と思っていることもありますし、写っている人の同意がなければ、肖像権やプライバシーの侵害にあたる場合がありますので留意する必要があります。

また、近年は、SNSに公開した写真が、日常生活の写真であっても生成AIにより簡単に性的な素材等に加工される危険性は否定できませんので、保護者の皆様には、より慎重な判断が望まれます他のお子さんであればSNSへの公開を拒否する保護者は少なからずいますので、慎重に行いましょう。